



No.160

県議会 とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755
E-mail gikai-seisaku@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。





△9月1日に行われたDr とちまる号(救急安心電話相談ラッピングバス) 出発式の様子(右から4人目が池田忠議長)

第408回通常会議(令和7年9月18日～10月9日)

一般会計補正予算、栃木県県税条例等の一部改正など28議案を可決

可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

- 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第3号)

とちぎ行革プラン2021を踏まえつつ、県民生活に関わる緊要な課題に適切に対処するための予算です。

◎県立学校や私立学校、幼稚園等における給食食材費の高騰分に対する支援、フードバンク活動団体への助成等

◎性別による無意識の思い込み等に関する気づきや意識変革を促す啓発イベントの実施、従業員の奨学金の代理返還を行う企業等への支援等

◎中小河川等の堆積土除去や山間部の土砂流出防止対策、農業水利施設の整備補修、医師偏在対策が特に必要な区域の診療所の承継・開業支援等
- 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第4号)

栃木県農漁業災害対策特別措置条例の規定に基づく資金の融通を円滑にする措置のための債務負担行為を追加することとしました。
- 栃木県県税条例等の一部改正について

法人県民税に係る法人税割の税率の特例措置について、適用期間を5年間延長すること等のため、条例の一部を改正することとしました。
- 栃木県議会会議規則の一部改正について

議員定数や県民により身近で開かれた県議会について調査・検討を行う議会あり方検討会を設置するため、規則の一部を改正することとしました。
- 議員派遣について

◎とちぎの将来についての新たな発想や率直な意見などを高校生から直に聴取するとともに、県議会の役割等について理解を深め、関心を高めてもらうための意見交換を目的とした「～とちぎの未来を考える～栃木県議会県政ミーティング」に議員を派遣することとしました。

◎台湾における産業振興、防災・危機管理対策、観光交流インバウンド誘客拡大等に関する調査に議員を派遣することとしました。

可決された意見書と概要

- 地方財政の充実・強化に関する意見書

増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、積極的な地方一般財源総額の確保・充実を図ること等を国に要望することとしました。
- 我が国における食料安全保障の根幹を担う農産物の安定供給かつ持続可能な生産の確保を求める意見書

持続可能で安定的な生産体制及び生産コストを反映した米を含む農産物価格保障制度の構築に努めること等を国に要望することとしました。
- 学校施設環境改善交付金事業に関する意見書

各自治体が学校施設の老朽化対策を着実に進めるため、必要な財源を早期に確保し、採択保留の事業や前倒し実施を希望する事業を全て採択すること及び来年度以降、事業の不採択が発生しないようにすることを国に要望することとしました。



▲第408回通常会議(10月9日)採決の様子



とちまるくんのなるほど! 県議会

～県政ミーティングの様子を紹介するまる!!～

今回は、とちぎの未来を担う子どもたちに県議会に対する関心を高め、理解を深めてもらうための主権者教育の一環となるよう実施した「～とちぎの未来を考える～栃木県議会 県政ミーティング」の様子を紹介します。

映像(県議会ハイライト)はこちら▶
(真岡工業高校は12月15日頃掲載予定)



鹿沼東高校(令和7年7月14日開催)

◎生徒:3年生(政治・経済選択者)約70名

◎議員:池田忠議長、琴寄昌男副議長、山田みやこ議員、横松盛人議員、塩田ひとし議員、平池紘士議員、加藤雄次議員、岡部光子議員、湯澤英之議員

◎司会:井出文恵さん(栃木県議会ナビゲーター)



【意見交換】

生徒:東京などへの転出超過により人口減少が進んでいますが、対策を教えてください。

議員:結婚支援の充実や子育て環境の整備などに取り組んでいますが、人口減少対策に引き続き尽力していきます。



生徒:広い世代に人気の商業施設を誘致できませんか。そこで県産品等を扱ってもらえば地産地消にもつながると思います。

議員:地産地消の取組として道の駅等を展開していますが、引き続き、行政にできる話題性にもつながるようなことを考えていきます。

生徒:観光資源の地域間格差が課題と感じますが、改善するための取組はありますか。

議員:優れた観光資源の磨き上げを行うとともに、県内を広く周遊する観光ルートをつくるなど取り組んでいます。

生徒:街中にある空き店舗などを活用してもらうための取組について教えてください。

議員:まちづくりの推進に関する条例に基づく県の取組や空き店舗等の活用に関する市町の補助を行っています、引き続き検討していきます。

【まとめ】

池田議長:人のために役立ちたい、郷土の皆さんの思いを実現したいの思いで議員は取り組んでいます。ぜひこれからも、皆さんの声を県議会に届けてください。

▲池田忠議長

生徒の皆さんが、議会や政治を“遠い存在”でなく“暮らしとつながるもの”と考えていることがわかり、頼もしく感じました。

井出文恵さん

真岡工業高校(令和7年10月29日開催)

◎生徒:2年生約150名

◎議員:池田忠議長、琴寄昌男副議長、岩崎信議員、山形修治議員、野澤和一議員、石坂太議員、大木英憲議員

◎司会:永井壘さん(栃木県議会ナビゲーター)



【意見交換】

生徒:栃木県でも少子化が進んでいますが、県ではどのような少子化対策をしていますか。

議員:とちぎ結婚支援センターによる結婚の後押しのほか、企業とも連携し、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めています。



▲琴寄昌男副議長

生徒:栃木県では、空き家の問題にどのように取り組んでいるか教えてください。

議員:各市町で、事業拠点や住まいへ改修するための補助、観光案内所などへの改修等を行っています。県議会としても、利活用による地域活性化に向け、支援を強化していきます。



生徒:自転車の走りやすい道路整備をしてもうえませんか。

議員:自転車に関する条例をつくり、自転車専用道路の整備を進めています。引き続き、安全を感じてもらえる道路整備に取り組みます。

生徒:高校の体育館へのエアコン設置を進めてもらえませんか。

議員:計画的に高校へのエアコン設置を進めるとともに、予算を確保できるよう国に対して要望しています。体育館への設置が実現できるよう尽力していきます。

【まとめ】

池田議長:若者らしい質問をいただけました。これからも、政治や県政に興味を持って議員を見守ってください。皆さんの未来が輝かしいものであることを祈っています。

まずは、質問をしてくださった生徒さんの勇気に拍手です。今後は、更に多くの声、それが個性的なほど、聞きたいなと思う日でした。

永井壘さん

◆生徒の皆さんへのアンケート結果から◆

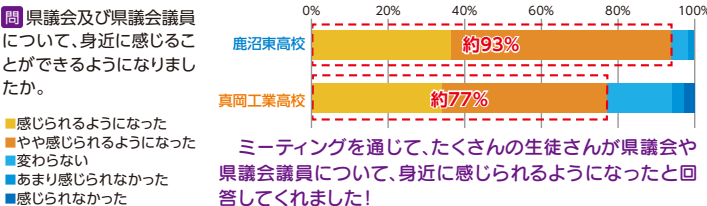
- 鹿沼東高校

・議員さんたちが抱えている思いが私たちと一致していたので、栃木の未来を一層期待したいと思いました。

・議会は堅いイメージがありましたが、皆さん明るく優しく話をしてくださったおかげで、より身近に感じられるようになりました。
- 真岡工業高校

・とても貴重な時間で、質問に対しての返答も分かりやすく、いい経験ができたと思いました。

・自分の意見を県議会議員に伝え、答えをもらえることはなかなかない経験なので、参加できてよかったです。



《第408回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

代表質問 (9/22)

そうとめ ゆきひこ

五月女 裕久彦

(とちぎ自民党)

[宇都宮市・上三川町]



○人口減少・少子化対策

問 官民協働で人口減少問題を議論する栃木県人口未来会議※1において、とちぎ人口減少克服宣言※2を行い、必要な対策を体系化したところですが、人口減少・少子化対策にどのように取り組むのか伺います。

答 【知事】企業・団体に対してアクションプランの作成と「とちぎ人口未来パートナー※3」としての主体的な取組をお願いし、県全体に取組のムーブメントを起こしていくとともに、国の地方創生2.0※4の動向を踏まえ、女性活躍推進フェロー※5及び少子化対策アドバイザーの助言や若者の意見を伺いながら施策の充実・強化を図り、全県一丸となって人口減少・少子化対策に取り組んでいきます。

○県産米の生産振興

問 全国有数の米どころである栃木県として、需要をしっかりと把握し、美味しい米を消費者に安定供給していくため、国の米増産の方針を踏まえ、県産米の生産振興にどのように取り組むのか伺います。

答 【知事】需要に応じた米づくりを進めることが重要であるため、水田農業実践プランに基づき、生産コストの低減や規模拡大などによる収益性の高い生産構造を確立するとともに、気候変動に適応した品種の生産拡大や販路開拓などを推進していきます。

あわせて、一定の需要が見込まれる、加工用米や酒米、飼料用米などについても地域内流通の取組を支援し、関係機関・団体と一体となって、県産米の生産振興に取り組んでいきます。

このほか

県内経済の活性化、教職員による不祥事の根絶と安全安心な県立学校づくりなど

代表質問 (9/22)

やまだ みやこ

山田 みやこ

(民主市民)

[宇都宮市・上三川町]



○災害から県民や地域を守る体制の充実

問 大規模災害が頻発・激甚化しており、災害時の迅速・円滑な防災関係機関との情報共有や、行政・NPO・ボランティア等の活動支援や活動調整を行う災害中間支援組織は重要な役割を担います。

関係機関との情報共有と共通理解を図り、災害中間支援組織を早期に設置すべきと考えますが、所見を伺います。

答 【生活文化スポーツ部長】平常時から関係機関と情報共有に努め、顔の見える関係の構築に取り組んでいます。

災害時の被災者ニーズに応じた円滑な活動には、災害中間支援組織は効果的であり、国の官民連携による被災者支援体制整備モデル事業を活用しながら、設置について検討していきます。

○人口減少対策とジェンダーギャップ解消

問 人口減少克服には、県民の意識改革に向け、ジェンダーギャップ解消等の啓発だけにとどまらず、様々な生き方を受け入れ、栃木県で働き、暮らす選択を推進する具体的方策が求められます。

G7大臣会合での日光声明発信の地である本県は、どのようにジェンダーギャップ解消に取り組み、人口減少対策に努めていくのか伺います。

答 【知事】栃木県人口未来会議がとりまとめた、とちぎ人口減少克服宣言の内容等を踏まえ、社会全体の意識変革に取り組めます。

あらゆる分野におけるジェンダーギャップの解消を図りながら、誰もが個性や能力を発揮できる、女性や若者に選ばれるとちぎの実現を目指して取り組んでいきます。

このほか

とちぎ男女共同参画センターの在り方、居住支援など

一般質問 (9/22)

にしむら しんじ

西村 しんじ

(公明党)

[小山市・野木町]



○大阪・関西万博における成果を活用した今後の取組

～本県ブース展示成果やレガシーの今後の活用～

問 大阪・関西万博において、本県ブースを出展した結果、5万254人が来場し、かつ、「栃木県に行ってみたくなったか」の問いに対し、「そう思う」と「ややそう思う」の回答を合わせ96.4%となりました。

これらの成果やレガシーをどのように本県の魅力発信に生かしていくのか伺います。

答 【知事】様々な展示物や映像等のレガシーを活用し、関西での本県の認知度向上と観光誘客の促進につなげるほか、SNSによる発信や次世代連携プロジェクト※6として県の魅力をまとめたパネルの県庁展望ロビーへの展示等、出展の成果を一過性のものにすることなく、県を挙げた県内外への魅力発信に取り組めます。

○本県産業の更なる発展のための取組～とちぎ技能五輪・アビリンピック2017のレガシーを活用したものづくり人材育成～

問 2028年技能五輪国際大会は日本開催が決定し、ものづくり県として世界にアピールできるビッグチャンスであり、とちぎ技能五輪・アビリンピック2017のレガシーを受け継ぎ、県内産業の発展につながるよう、大会への参加に向けて取り組むべきと考えますが、所見を伺います。

答 【知事】現在策定中の次期職業能力開発計画において、「ものづくり産業を担う人材育成の推進」や「ものづくり県とちぎを支える技能の継承と振興」などを柱に位置付け、各種取組を推進していく考えであり、技能尊重の機運を醸成するとともに、2028年技能五輪国際大会を好機と捉え、世界を目指す若年技能者の育成に努めていきます。

このほか

災害対応能力向上のための防災DXの推進、県民の安全と安心に資する取組～自転車への交通反則通告制度導入に向けた対応～など

一般質問 (9/25)

しらいし としたか

白石 資隆

(とちぎ自民党)

[小山市・野木町]



○将来を見据えた県政運営

問 本県のGDPの総額は、全国で15位程度であります。本県が成長を続けるには、現状の順位に甘んじることなく、大きく前向きな目標を立てて取り組む必要があります。

長期的で明確な目標のもと、将来を見据えて本県を発展させるため今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】中長期的な展望のもと、次期プランの策定を進めているところであり、人づくり戦略をはじめとした5つの重点戦略を設定していきたいと考えています。

特に、産業分野では、経済・雇用をけん引する産業の創出・振興や農林業の成長産業化、国内外からの誘客促進、県内企業の海外展開支援などを重点戦略に位置付けていきます。

○地域の実情を踏まえた部活動の地域移行

問 部活動の地域移行は、教育的視点が軽視されていると感じるとともに、親の所得や住む地域による格差の拡大を懸念するほか、指導者が集まらないなどの課題も多いと聞いています。

こうした現場の声をどのように検証し、様々な課題に対して国にどのような改善を望んでいくのか、また、地域の実情を踏まえた部活動の地域移行とするためにどのように取り組んでいくか伺います。

答 【教育長】今後示される国の方針や実証事業で明らかとなった課題を踏まえ、教育的視点も加味した次期プランを策定するとともに、国に対して、経済的困窮世帯への財政的支援や、地域移行に困難を伴う市町へのきめ細かなサポートについて要望していきます。

このほか

働き方改革と人手不足、食料安全保障の確立に向けた食料自給率の向上など

一般質問 (9/25)

いけがみ まさみ

池上 正美

(県民)

[真岡市]



○県立高校への給食の導入

問 県立高校は、生徒各自が昼食を持参していますが、保護者から給食の導入を望む声を聞いています。

給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するなど重要な役割を担っており、その役割は高校生に対しても変わらないと考えますが、県立高校に給食を導入する考えはないのか伺います。

答 【教育長】高校生は、中学校までに習得した食に関する知識等を自立的に活かす段階と捉えており、給食を導入するに当たっては、給食の保管場所、運搬経路等の施設整備や、栄養教諭等の人員の配置など、様々な課題があるため、引き続き、授業等を活用しながら食育の充実を図るとともに、他県の状況を参考に県立高校の給食の在り方を研究していきます。

○片目失明者の障害認定基準の緩和

問 片目失明者に対する障害認定基準は厳しく、片目の視力が0.02以下でも、もう一方の視力が0.6を超えると障害認定はされません。

片目失明者には義眼使用者も多くいますが、身体障害者手帳がなく、健康保険も適用外である場合、約20万円もの製作費用が全額自己負担となります。

片目失明者の障害認定基準の緩和を国へ要望する考えはないのか伺います。

答 【保健福祉部長】県では、障害のある方々の団体と意見交換を毎年行っており、そうした場で広く御意見を伺いながら、要望の必要性について研究するとともに、障害の有無や程度にかかわらず誰もが共に支え合う共生社会の実現に向け、障害者施策の充実に努めていきます。

このほか

井頭公園へのキャンプ場整備、災害に備える自主防災力の向上など

一般質問 (9/25)

かねこ むさし

金子 武蔵

(とちぎ自民党)

[宇都宮市・上三川町]



○県民が暮らしやすい秩序ある共生社会

問 多文化共生は、「郷に入れば郷に従え」が基本であると考えます。

欧州の移民政策の方向転換及び国内での土葬問題の所見と、一部の外国人による犯罪や迷惑行為などへの対処、今後20年後・30年後の青写真をどのように描き、国内外の課題や治安情勢、将来の移民2世・3世を取り巻く課題を踏まえて、秩序あるとちぎの多文化共生に向けて取り組んでいくのか、伺います。

答 【生活文化スポーツ部長】犯罪等に厳正に対処する必要がある一方、外国人の様々なニーズを把握し、ライフステージ等に応じた支援を行うなど、受入環境を整備することも重要です。

今後とも、日本人と外国人が共生するとちぎの実現に向け取り組んでいきます。

○子どもと地域を守る防犯カメラの設置推進

問 通学路や犯罪多発地域を中心に防犯カメラの設置を積極的に進めるべきと考えますが、伺います。

また、防犯カメラの学校内への設置は教員の不祥事等を未然に防ぐ効果的な取組と考えますが、見解を伺います。

答 【生活文化スポーツ部長】一般の警察庁通知を受けた県警察の調査結果をもとに、防犯カメラの設置が更に進むよう、警察及び地域の安全を担う市町と連携して取り組んでいきます。

答 【教育長】国の日本版DBS※7の導入に向けた有識者検討会議において、防犯カメラの校内への設置が有効である旨の議論がされたことは承知しており、プライバシーへの配慮や児童生徒・保護者の御意見を十分に伺いながら検討していきます。

このほか

学校現場における熱中症対策の強化、戦後80年を契機とした次世代への平和学習の展開と記憶の継承など

※1 栃木県人口未来会議：人口減少問題の克服に向けて、官民連携体制の強化を図り、施策の実効性を県全体で高めていくことを目的に令和7年4月に設置
※2 とちぎ人口減少克服宣言：人口減少問題に対して、全県一丸となり取り組むべき方向性を示す宣言
※3 とちぎ人口未来パートナー：県と共に人口減少対策に取り組むパートナー
※4 地方創生2.0：「地方こそ成長の主役」という発想をベースに、人口が減少しても経済成長を続ける施策

をするための改革のこと。
※5 女性活躍推進フェロー：女性活躍やジェンダー平等に関する専門的知見を有する外部人材
※6 次世代連携プロジェクト：県内の小中高生等が本県の魅力を研究し、オンラインで万博来場者に紹介した取組
※7 日本版DBS：性犯罪を防止する措置の一つとして、対象の事業者に対し、子どもに接する仕事に就く人について、性犯罪歴の確認を義務付ける制度のこと。

《質疑・質問日 令和7年9月22日、25日、26日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

一般質問 (9/25)

せきや のぶゆき
関谷 暢之
(とちぎ自民党)
[那須塩原市・那須町]



○外国人観光客のFIT※8化を踏まえた施策の展開と周遊の促進

問 外国人観光客のFIT化を踏まえた施策の展開と周遊の促進を今後どのように進めていくか伺います。

また、DMO※9をどのように活用し、連携を強化していくか伺います。

答 【産業労働観光部長】訪日中の旅行者を本県に呼び込むため「旅ナカ」のプロモーションに取り組んでいるほか、トレッキングや伝統工芸体験など質の高い体験型コンテンツを組み入れたモデルルートを提案し、滞在時間の長期化や県内周遊を促進していきます。

また、DMOの機能強化を支援していくほか、市町や地域DMOと連携しながら各地の観光コンテンツをネットワーク化し、周遊の一層の促進を図ります。

○次期プランと次期部門計画への展望

問 大きな社会課題、難問の下であっても、果敢にとちぎの未来を切り開く、次期プラン及び部門計画であることを期待しますが、次期プラン及び部門計画に込める知事の思いと未来への決意を伺います。

また、次期プラン等へのEBPMの手法の活用と、目標設定や進捗管理の考え方について所見を伺います。

答 【知事】本県を取り巻く様々な課題の克服と「誰もが未来に夢や希望の持てる栃木・豊かさと幸せを実感できる栃木」の実現に向けた道筋を示していきたいと考えています。

答 【総合政策部長】行財政資源が限られる中で、効果的なEBPMの観点を取り入れるとともに、有識者会議の設置も含めて、具体的な評価手法等を検討していきます。

このほか

本県農業の未来を守る担い手の確保・育成、物価高騰下における着実な社会資本整備の推進など

一般質問 (9/26)

おおき ひでのり
大木 英憲
(とちぎ自民党)
[小山市・野木町]



○未来への投資
～県土60分構想※10のリ・デザイン～

問 県土60分構想は、地域間格差の是正にもつながる重要な取組ですが、小山市南部や野木町などの一部地域で整備が遅れており、住民の通勤・通学・買い物や医療アクセスの利便性等に影響が出ています。

今後、県土60分構想のリ・デザインをどのように進めていき、未来への投資として県全体の持続可能な発展にどうつなげていくのか伺います。

答 【知事】地域の発展につながる交通ネットワークの整備を未来への投資として位置付け、広域道路の整備や公共交通の利便性向上に加え、自動運転技術の活用など、県内の交通環境の進展を踏まえながら取り組んでいきます。

○猛暑対策を踏まえた県立学校施設の整備

問 近年の猛暑への対策は、子どもの命を守るための喫緊の課題であり、小山市などでは、小中学校の教室や体育館にもエアコン設置をしています。

二重窓や内窓の導入による断熱なども手段の一つと考えますが、県立学校体育館等の空調設備の整備や断熱化、省エネルギー化など、猛暑対策に対応した施設整備をどのように進めていくのか伺います。

答 【教育長】県立学校体育館については、空調設備の設置に向け、効果的な整備手法等の調査を進めています。

また、教室等の暑熱環境の改善を図るため、省エネルギーに配慮した空調機器の導入に向けた検討を進め、児童生徒の教育環境の改善に努めていきます。

このほか

農作物等における災害対応、県道東野田古河線の安全確保など

一般質問 (9/26)

おおたに やよい
大谷 弥生
(夢と希望)
[足利市]



○合理的な路面標示の施工

問 道路に設置される路面標示は、線の種類や場所によって管理者が異なり、補修や更新も管理者ごとに行います。

同じ箇所を何回も交通規制することで道路使用者に不便をかけることがないよう、道路交通への影響を最小限にしつつ、合理的に路面標示を施工するため、関係機関とどのように連携して取り組んでいくのか、伺います。

答 【県土整備部長】路面標示を新たに設置する際には、設計及び施工等の段階において、管理者間で内容や施工時期等について適宜協議を実施しています。

今後、公安委員会としっかりと連携しながら、効率的な路面標示の施工に努めていきます。

○プレコンセプションケア※11

問 男女の年齢や生活習慣等が、出産や将来の健康に影響を及ぼす可能性があることを若いうちから知ることができるよう、プレコンセプションケアを推進することが重要と考えますが、県は、プレコンセプションケアを推進することで、どのような効果が期待でき、そのために、どのような取組を進めていくのか、伺います。

答 【知事】人口減少対策マンガラチャートに、プレコンセプションケアの推進を示したほか、令和7年9月にプレコンセプションケアセンターとちぎを開設し、セミナーへの講師派遣や相談事業を開始しました。今後は、啓発動画を制作し、情報発信していきます。

こうした取組の効果として、人生100年時代を自分らしく生きることのできる社会につながるものと期待しております。

このほか

本人が望む医療やケアを受けられる社会のために～ACP(人生会議)※12の普及啓発活動～、県営住宅の総量最適化など

一般質問 (9/26)

かとう ゆうじ
加藤 雄次
(とちぎ自民党)
[日光市]



○奥日光地域の新たなモビリティ導入に向けた調査

問 奥日光地域の人流・物流の把握に関する基礎調査の内容が示されましたが、客観的な事実だけでなく、地域に関わる様々な人の声をきめ細かに把握することが重要と考えます。

そこで、奥日光地域の新たなモビリティ導入に向けた調査に今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【県土整備部長】今年度実施する基礎調査では、自家用車や貨物車等の交通量、移動経路等に関する調査分析を行い、奥日光地域全体における人流・物流を把握するとともに、アンケート調査等により、地域住民や関係事業者の声を聞くなど、幅広い視点から地域課題を整理していきます。

○日光地区の統合新校における魅力ある学校づくり

問 今市高校、今市工業高校、日光明峰高校の統合新校は、3校が築き上げた伝統や特色を継承し、地域の発展に資する人材の育成に寄与することが期待されますが、魅力ある学校づくりに今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【教育長】各校の特色を引き継ぐウィンタースポーツや工業、大学進学等に対応する科目に加え、新たな特色となる福祉に関する科目の開設など、多様な学びを展開し、生徒一人ひとりの自己実現を目指していきます。

また、豊富な観光資源等を有する地元への理解を深めながら、地域課題を探究する学習を充実させ、他者と協働して問題を解決できる力の育成を図るなど魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

このほか

日光市足尾地区における地域医療提供体制の確保、国道121号日光川治防災の進捗状況と今後の見通しなど

一般質問 (9/26)

ひがの よしゆき
日向野 義幸
(とちぎ自民党)
[栃木市]



○防災庁の誘致

問 防災庁の誘致は、防災力の強化だけでなく産業の発展や地域の活性化にもつながることから、国が地方創生2.0基本構想で政府機関の地方移転を進める方針を打ち出したこの好機を逃さず、知事には強いリーダーシップを発揮して取組を進めてほしいと考えます。

誘致の実現に向けた意気込みと今後の取組について伺います。

答 【知事】令和8年度中の防災庁設置に向けた検討が進められる中、国に対して栃木県への防災庁の設置を要望し、本県の優位性を強くPRしてきました。

国の議論の動向を注視しながら、私が先頭に立ち、防災庁を含めた政府関係機関等の地方移転の実現に取り組んでいきます。

○ケアラー支援

問 ケアラー支援の一層の推進に向け、施策体系の見直しや、全てのケアラーに支援が十分に行き渡るよう、取組の強化が必要と考えます。

議員提案による栃木県ケアラー支援条例の制定から2年が経過し、支援推進計画が中間年を迎えますが、これまでの取組の評価と、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】支援の手引きを作成するなど現場での取組を支援していますが、市町の相談支援窓口にかに多くのケアラーをつなげるかが重要です。

引き続き、様々な手法で情報発信を行い社会全体でケアラーを支える気運を醸成し、次期計画の策定に向けて施策体系に基づく役割分担を整理するなど、より効果的に施策を推進していきます。

このほか

「栃木県版防災・減災及び県土強靱化」の推進、クマ被害対策など

県議会中継



本会議や予算特別委員会を生中継しています。(映像は手話通訳付き)



県議会ラジオ中継はFMでお聴きください

ラジオ局の栃木放送は、総務省の「AM局の運用休止に係る特例措置」により、AMラジオ放送の運用を休止しています。

12月以降の県議会中継は、FM放送(宇都宮94.1MHz、足利91.1MHz、今市・塩原・葛生93.4MHz)又はスマホアプリ「radiko(ラジオ)」でお聴きください。



↑詳しくはこちら

監査委員の審査報告

●9月18日

高山和典監査委員から、令和6年度栃木県流域下水道事業会計ほか5件の決算に関する審査報告が行われました。



●10月9日

山形修治監査委員から、令和6年度栃木県歳入歳出決算に関する審査報告が行われました。



※8 FIT(Foreign Independent Tour)：団体旅行やパッケージツアーを利用せず、個人で海外旅行に行くこと。
※9 DMO(Destination Management Organization)：地域の多様な関係者と協働し、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人
※10 県土60分構想：県内各地域から県庁へ60分でアクセスできることを目標に掲げて、道路整備や公共交通の充実を図る構想

※11 プレコンセプションケア：女性やカップルを対象として、将来の妊娠のための健康管理を促す取組
※12 ACP(人生会議)：アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning)の略で、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組

常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第408回通常会議において所管常任委員会に付託された議案(令和7年度一般会計補正予算(第3号・第4号)関係議案等)について、9月30日に審査及び採決が行われました。また、10月21日には決算特別委員会から調査依頼された認定案件について、調査を行いました。

●県政経営委員会

付託議案: 栃木県県税条例等の一部改正について等 2件
報告事項: 「とちぎデジタル戦略」の改定について等 4件

委員からは、次期「栃木県ブランディング推進方針」における本県ブランドイメージの明確化等について意見が出されるなどしました。



●生活保健福祉委員会

付託議案: 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第3号)中所管関係予算
報告事項: 令和7(2025)年度生活文化スポーツ部の各種計画の策定について等 12件

委員からは、「文化と知」の創造拠点の整備やフードバンク活動団体への支援等について意見が出されるなどしました。



●農林環境委員会

付託議案: 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第3号)中所管関係予算等 2件
報告事項: 環境森林部所管次期計画の策定について等 5件

委員からは、施設園芸の暑熱対策や農家保管指定廃棄物への対応等について意見が出されるなどしました。



●経済企業委員会

付託議案: 令和7年度栃木県電気事業会計補正予算(第1号)等 5件
報告事項: 次期産業プラン等に関する検討状況について等 5件

8月4日には、道の駅那須高原友愛の森や北那須水道事務所の取組を調査するため、現地視察を実施しました。



▲那須高原友愛の森の説明を受ける委員

●県土整備委員会

付託議案: 令和7年度栃木県流域下水道事業会計補正予算(第1号)等 11件
報告事項: 県土づくりプラン(2026～2030)の策定について等 2件

委員からは、通学路の整備や建設業の人材育成の推進等について意見が出されるなどしました。



●文教警察委員会

付託議案: 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第3号)中所管関係予算
報告事項: 「教育委員会の点検・評価」報告書について等 2件

7月29日には、不登校児童生徒のためのフリースペースひよこの家や栃木県警察機動センターの取組を調査するため、現地視察を実施しました。



▲ひよこの家について意見交換を行う委員

決算特別委員会

令和6(2024)年度の決算について審査するため、9月26日に決算特別委員会が設置され、4件の議案と7件の認定が付託されました。

【審査経過】

- 10月17日: 公営企業会計決算の認定等10件の審査と採決、普通会計の概要の説明
- 10月21日: 各常任委員会における普通会計の決算認定の審査
- 10月31日: 普通会計決算の認定1件の審査と採決



▲審査と採決の様子

次期プラン検討会

○8月7日

次期プランに対する提言のため、全議員による検討会を開催しました。

執行部から、次期プランにおける重点分野の構成イメージ等について説明を受け、質疑や意見交換を行いました。

○9月18日

全議員アンケート調査の結果を確認し、次期プランに関する検討会報告書の素案について検討しました。

○10月15日

報告書の素案に対する委員の意見を踏まえ精査した報告書案について検討しました。

○10月21日

全議員検討会などを含む検討会での議論を踏まえ、県議会としての提言を取りまとめた報告書を、神谷幸伸会長から池田忠議長に手渡しました。



▲左から池田忠議長、神谷幸伸会長、琴寄昌男副議長、佐藤良副会長

報告書はこちらから
ご覧いただけます→



国会等移転促進協議会

9月30日に、政府関係機関の地方移転等に係る現在の国の動きと県の対応について執行部から説明を受け、質疑や意見交換を行いました。



▲協議会の様子

議会あり方検討会

議員定数や県民により身近で開かれた県議会について調査検討するため、議会あり方検討会を10月9日に設置しました。

また、同日、互選が行われた結果、会長に岩崎信議員、副会長に阿部寿一議員が決定されました。



▲あいさつする岩崎信会長

U-18 高校生世代のギモン? もっと なるほど! 県議会

あなたがもっと知りたい県議会や議員のことなどについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。



池田忠議長

Q

地域で有名な場所のはすなのに、あまり知られていないところがあります。宣伝は十分にされていますか。

A

県では、県公式観光サイトや各種パンフレットでの情報発信のほか、旅番組等の番組制作会社やテレビ局へ観光情報を提供するとともに、放送番組の動画配信サービスを活用した情報発信に取り組んでいます。

また、とちぎ未来大使や人気インフルエンサーに本県の観光地やグルメ、県産品等の魅力をSNS等で発信していただくなど、各世代に応じたプロモーションにも努めています。

Q

栃木県のスポーツを盛り上げるためにやっていることは何ですか。

A

県では、県民誰もがスポーツを楽しめるよう「とちぎスポーツフェスタ」の開催や総合型地域スポーツクラブの育成支援のほか、世界で活躍するアスリートの発掘・育成・強化に取り組んでいます。

また、東京圏からのアクセスの良さや地域に密着したプロスポーツチーム、充実したスポーツ施設など、本県の強みを生かし、栃木県スポーツコミッションを核として、国際大会も含めたスポーツ大会や合宿等の誘致にも取り組んでいます。



琴寄昌男副議長

高校生世代※からの
質問を募集します!

※栃木県にお住まい又は通学している
おおむね16歳から18歳までの方
応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。
たくさんの質問をお待ちしています!



県議会トピックス

○第79回国民スポーツ大会総合開会式
9月28日に、第79回国民スポーツ大会総合開会式が滋賀県彦根市で開催され、池田忠議長及び生活保健福祉委員会の星雅人副委員長が出席しました。



▲現地での決起集会の様子

県議会からのお知らせ

県議会のことをもっと知りたいあなたへ

栃木県議会を紹介する動画をYouTubeで公開中!



小学生向け



一般の方向け

議会の仕組みや県議会本会議の様子が小学生などにも分かりやすい映像になっているから、ぜひ見てほしいま!



総務省「主権者教育だより」

県議会県政ミーティングの取組が全国の好事例として、総務省の発行する「主権者教育だより(令和7年9月号)」に掲載されました。



↑主権者教育だよりはこちら

開会中の通常会議の日程

12月12日(金) 本会議(採決、散会)
※午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は、県ホームページでご覧いただけます。
※傍聴については、先着順に受付を行います。



↑質疑・質問の様子はこちら